

発責 国労鹿児島地区本部
 編責 編集部
 鹿児島市武1丁目17-24
 吉嶺ビル403号
 ☎ 099-254-0266

2017

NRU

国労鹿児島

第33回九州本部大会開催！

8月30日に博多において、第33回九州本部大会が開催され、鹿児島地区本部から、代議員で福田・黒木氏、地区本部から、原村・千代森・柏木・川崎氏、職協代表で西原氏が参加しました。

大会では、福田氏が発言し、合理化反対の運動の強化を求めました。

大会は、内田副委員長の進行で始まり、議長に北九州地区本部の糸山代議員を選出し議事を進めた。

はじめに、真子九州本部委員長が、「来賓者へのお礼と本年の運動を展開するために、今大会で方針を確立して頂きたい。」と挨拶された。

続いて8名の来賓者から連帯の挨拶を頂き、最後に松川国労本部書記長から、これまでの経過と方針の問題提起が行われた。

大会は、古賀業務部長の経過及び協約協定、千々岩書記長から方針の提案が行われた。

質疑は、7名が発言に立ち、その後全体で承認され方針が確立した。



財政は、黒木財政分科会委員長から、決算及び予算報告が行われ承認された。最後に、千々岩委員長の「団結ガンバロー」で閉会した。（詳しくは九州本部情報を参照されたい。）

＊＊新役員＊＊

執行委員長

千々岩 隆 博多

副執行委員長

古賀 正弘 博多

書記長

岩 元 孝信 長崎

執行委員

水 流 彰 北九

西 山 泰三 博多

原 田 浩幸 博多

福田代議員発言



私からは、特急ワンマンと会社が発表した「輸送密度」について発言したいと思います。

特急ワンマン、ご存じのように、昨年ダイヤ改正から、宮崎空港から大分間に導入されました。また、会社は、来年度鹿児島中央から南宮崎「霧島」をワンマンにする計画を持っています。

この間、地区本部として、ダイヤ改正交渉及びダイヤ改正後交渉の中で、「安全とサービス」に問題があり中止と設備の改善等についておこなってきました。一定の設備の改善はするが、会社は何ら問題はないと言っています。

しかし、現在は「案内要員」が乗務している状況で、ツーマンと変わらない状況であるからであり、幸い大きな事故、自然現象が発生していないからです。問題が無いのではなく、対応ができていないからです。そう考えるとツーマン運転こそが、安全とサービスの確保ができる絶対的条件だと思います。そのことを会社につきつめるとともに、完全ワンマン時にどう具体的対応をするのか追求をしなければなりません。

今後交渉の強化と共に、国労として、他組合員に見える運動の構築と展開が求められていると強く感じます。国労として『反対』という意思表示をするためにも、情宣活動を進めると同時に、具体的組織的行動（スト・集会・ビラ配布等）の展開が必要な時期であると思います。これまで進められてきた効率化で、職場での不満は高まっています。

国労は本来に社員の立場で頑張っている組合であると広く打って出る具体的運動、行動の提起を九州本部に強く求めたいと思います。

2点目は、「輸送密度」報道についてです。組合が言っても出さなかった会社が今なぜ新聞報道したのかを考えなくてはならないのではないかと。私的に言えば、乗車・利用を呼び掛けているように見えますが、民間会社となつた今、地方線は赤字ですよ、存続が危ないですよと・・・、存続したいなら経営方式（上下分離式）しかないですよと・・・世論を誘導する（あきらめさせる）ためにしか見えません。そう見ると、地方線の具体的縮小・廃止がでてくる可能性が高まってくると思います。

国労として今後どう闘うのか、方針である地方公共交通を守る闘いの具体化のために、会社内での闘いと、地方における取組み（利用促進・自治体要請・守る会結成等）の具体的展開が早急に求められると思います。九州本部として、対策会議等を設置し、各地方で具体的運動の展開ができるようお願いしたいと思います。

鹿児島地区本部も九州本部、組合員の皆様と共に、闘う国労組合員として奮闘すること誓い発言とします。

国労鹿児島地区本部大会は、10月29日（日）予定です。各組合員は勤務手配をお願いいたします

